

一人は万人のために、
万人は一人のために

生協の理念

わたり病院玄関に掲げてあります

ふくしま



発行所
福島医療生協

2020年11月号 第414号
発行責任者 山口 裕
<http://watari-hp.jp/>

福島医療生活協同組合
医療生協わたり病院
生協いいの診療所
医療生協わたり病院附属
ふれあいクリニックさくらみず

TEL 024-522-1236
TEL 024-521-2056
TEL 024-562-4120
TEL 024-559-2664

〒960-8141
〒960-8141
〒960-1301
〒960-0241

福島市渡利字中江町66番地
福島市渡利字中江町34番地
福島市飯野町字後川27-2
福島市笹谷字釜谷地20-1

医療生協

“コロナに負けないぞー”

杉妻支部のつながりは
強固になりました



医療生協の組合員と事業所との 結びつきを強化することが 今こそ必要です。

「新年会以来ですね！ みなさんお元気でしたか？」

なかよし会の冒頭で安増理事が会場みんなに語り掛けると、たくさんの笑顔が返ってきました。

本当に久しぶりでした。コロナ禍の為に、健康講座もバスハイクも、何も活動出来ずに久しぶりの班会でした。

テーマは

「コロナに負けない！ 手立ては何だろう？ もうご存知かもしれませんが、基本的なウイルス対策等について、また、わたり病院の受診の仕方についてみなさんと確認をしましょう！」

そしてもうひとつ大事なテーマは、

「自分たちの事業所を守ろう！ 地域医療と介護を応援しよう！ コロナ危機を乗り越え、経営基盤を強化するため、出資金の積立・増資にご協力ください！」です。

おまけがあります。

「七月からレジ袋が有料化」になりました。買い物に出かけて「あつ、マイバック忘れた」こんな経験はありませんか？ 今回は携帯に便利なレジ袋入れを

皆で作りました！
と、和気あいあいとしレジ袋入れを手作りしました。

そして班会は大成功に終わったのです。

三十名ほどの参加者からは感謝の言葉と励ましの声、ほとんど全員分の増資を受け取りました。

「コロナのことはTVや新聞では聞いているけれど、きちんと話を共有して聞けて良かった」

「病院との関わり方や、現状などを話してくれてありがとう！ 病院、頑張ってください！ 応援しています」来て良かった！ これからもこの地域で頑張るべない」

「ヤー楽しかった。レジ袋入れ大事にすつから！」

「運営委員のみなさん準備大変だったべ、組合員で良かった！ また呼んでね！」

確かに運営委員のみなさんは、円滑にレジ袋入れが作れるように下準備や、コロナ禍での班

手作りの
レジ袋入れ



杉妻支部 理事

川崎 三枝子

会なので除菌、三密にならない工夫など大変でした。そのご褒美のように帰る際に、一人ひとりから沢山の笑顔と言葉をいただきました。
この班会に参加したみなさんの結びつきはとも強くなり強化月間の名の通りとなりました。
これからのコロナとのたたかいは、組合員同士と医療機関との結びつきを強化することで防げるのではないかと。
コロナに負けないぞーと、目標が定まったような気がしました。

杉妻支部はこれからも、組合員と活動の担い手を増やして、地域の皆さんも健康で笑顔で暮らせる手伝いしながら、活動を続けて行きます。

医療と福祉の連携でコロナ禍の暮らしを支えます

～わたり福祉会から～

新型コロナウイルス感染症は、私たちの生活に大きな影響を及ぼし続けています。特に高齢者は、様々な病気や障害を持つ方が多く、感染すると重症化のリスクが高いといわれています。そのため、わたり福祉会の各事業所では、施設での感染予防対策はもちろんのこと、職員は私生活も感染に注意を払い、日ごろの支援にあたっています。

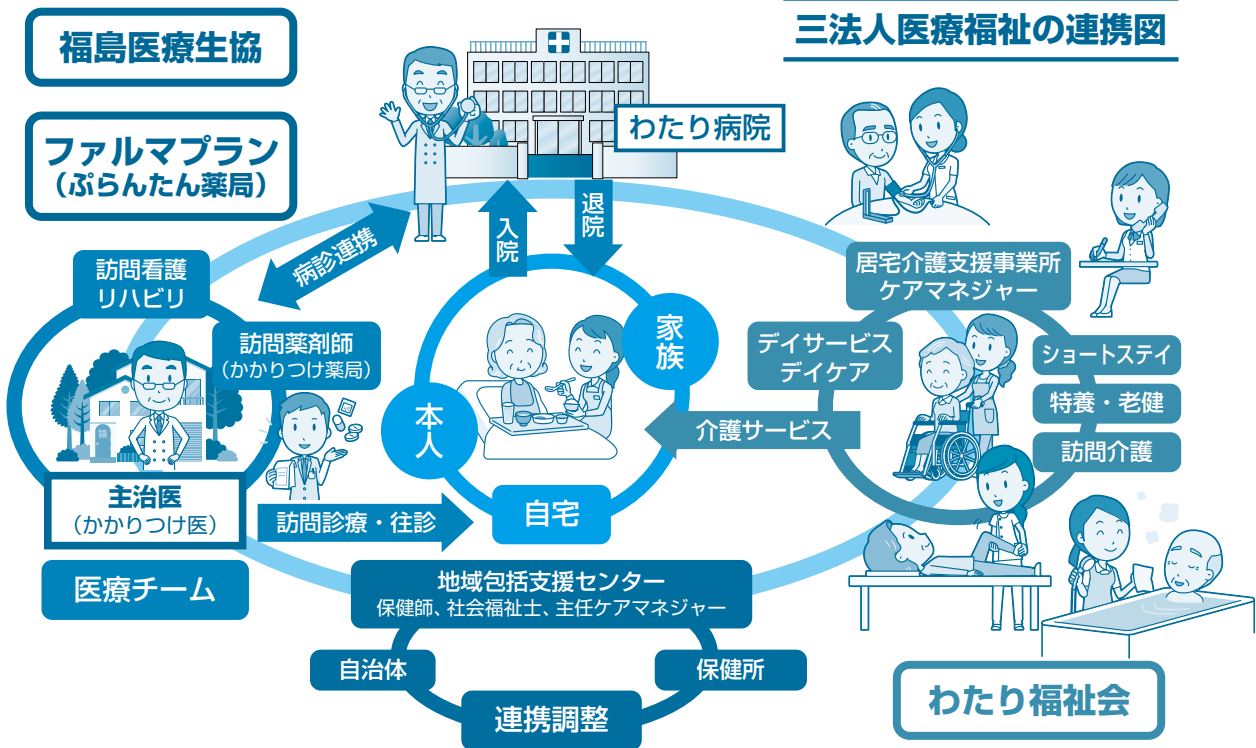
Hさん(仮名)ケースをご紹介します。Hさんは県外で一人暮らし。病気で一度は余命宣告を受けるほどの状態でしたが、ご家族の献身的な介護もあって回復し、病気を機にご家族の暮らしが福島市に転居してきました。老人保健施設はなひらのに入所されてからも連日ご家族が面会に訪れ、元気に過ごされています。しかし、コロナの影響で施設の面会制限が始まり、ご家族の面会がストップしてから徐々に活気がなくなり、食欲も落ちてきました。ご家族と相談の結果、在宅で介護をされることになりました。福島で在宅介護は初めてでしたが、わたり福祉会のケアマネジャーが調整を行い、福島医療生協の往診、訪問看護、わたり福祉会のヘルパーが支援に入る計画を立てました。日ごろから医療生協の各事業所と連携をしていたのでサービス調整もスムーズに進み、在宅介護がスタートしました。ご家族の介護をうけて一時は元気になり、最後まで

入所施設では、二月下旬から面会制限を行っていました。現在はオンライン面会や一部面会制限の緩和を実施していますが、冬場に向けてまだまだ予断を許さない状況が続いています。

福島医療生協とわたり福祉会の連携(事例を通して)

コロナ禍にあっても『その人らしく生活ができる』ように、わたり病院をはじめとした医療生協の各事業所、ふらんたん薬局等と連携しながら、介護福祉の活動を継続してきました。一例として

三法人医療福祉の連携図



は自宅でご家族に見守られながら穏やかに永眠されました。ご家族から、「コロナがなければもう少し長生きできたかもしれないけど、最期は医療生協とわたり福祉会が連携して支援してくれたおかげで安心して在宅介護ができました。いい看取りができました。」との言葉をいただきました。

コロナの影響は今後も続いていくことが予想されますが、これからも利用者さんご家族の思いを受け止めながら、福島医療生協のみならず、わたり福祉会の連携で暮らしを支えていきます。

社会福祉法人わたり福祉会

専務理事 板橋 修

健康づくりチャレンジ第2弾スタート!!

ちよつとずつ生活習慣を身につけよう!



だんだんと寒くなる季節がやってきました。みなさん体調はいかがでしょう。コロナ禍で長い期間外出を控え、心身ともにストレスが蓄積していると思います。そんな中でもご自宅で心とからだを整えることを続けましょう。

健康づくりチャレンジは、日常生活のちよつととした工夫から、健康習慣を身につけるきっかけを持ち、目標をたてて取り組むことで、健康習慣の継続と定着させることが目的です。三十日間のチャレンジで新しいあなたに出会えるかもしれません!

なお、今回のチャレンジは第二弾として、すぐ

のように楽しみながら記録を記入できるような用紙になっています。今年はキッズチャレンジも同じ用紙で行いますので、親子や家族での参加もお待ちしております。初めてのの方はもちろん、毎年行っているチャレンジもぜひご参加ください! 記録用紙をご提出いただいた方には、記念品を差し上げます!!

チャレンジシートは、十月号の機関紙に折り込んでお配りしています。生協本部でも取り扱っていますのでお気軽にお問い合わせください。

組合員活動部

関場 和史

社会福祉協議会と

いっしょに：

川俣支部

サロンでも健康チェックを

川俣支部では、川俣町社会福祉協議会（以下社協）と協同の活動を広げています。川俣町内の仮設住宅の支援でもともとつながりはあったのですが、川俣ひまわり班に参加した社協生活支援コーディネーターの菅野美佐江さんが骨密度測定を経験したことで、「同じような事を他のサロンでもお願いできないですか」と話が進みました。社協でのサロン責任者の集まりでも、福島医療生協のパンフレットを配っていただき、紹介をしてもらいました。その呼びかけのおかげで、様々な地区のサロンに組合員活動部が呼ばれています。

健康の輪を広げるのは 共通の想い

菅野さんからは「健康に



熊ノ宮いきいきサロン班



山木屋すずらん班

声も。通常の班会では出会えなかつた方々のふれあいがあります。

新班も誕生！

サロンから新しい班も誕生しました。東

福沢の「熊ノ宮サロン」班です。「北国の春体操」がウケてます。山木屋すずらん班ではサロンに登録したこと、組合員以外の方も参加して二十人近くで楽しく体操をしました。また地域で参加者もほぼ同じなのですが、大木戸サロンとさくら草班は交互に行っています。

地域活動の危機を 協同でのりこえる

川俣は世帯の五分の一が組合員で、わたり病院の患者さんも多い地域です。サロンに参加すると、「ばあちゃんも組合員だよ」「お宅に先週まで入院してたんだ」という

社会福祉協議会は、民間の社会福祉活動を推進する営利を目的としない民間組織です。各自自治体ごとに「福祉のまちづくり」の実現をめざした様々な活動を行っています。地域のボランティアと協力し「サロン活動」を進めるなど、地域福祉の拠点としての役割があります。

国は、地域の助け合いで地域の様々な問題を解決していこうとしています。しかし、地域活動の中心となつてくれる人が少ないのが現状です。医療生協だけでなく、自治会も老人会も社協も生協も農協も、地域活動をしてくれる人材を探しています。それなら、少ない人材を引っ張り合えるように、互いに協力したほうがよいですよ。健康のことは医

理事会社保平和委員会だより

トリチウム汚染水の海洋放出に反対する署名

理事会社保平和委員会では、「トリチウム汚染水の海洋放出に反対する署名」に取り組んできました。目標を大きく超える約七百筆が集まりました。

汚染水を放出すること、健康被害は絶対にないのか、福島への風評被害を防げるのか、といった議論

が不十分なまま強行されようとしています。反対の意思を示すことはもちろんですが、この署名に取り組むことで、汚染水問題や原発の根本的な危険性を知る契機になっています。

戦争体験のDVD作成

コロナ禍でも平和学習の機会をつくり、後世に戦争の記憶を残したいという思いから、複数の方の戦争体験の収録を行いました。現在、広

島原爆と学徒動員の体験を語っていただいた方のDVDを各支部に配布しています。この他にも数名の収録を終えています。

DVDを観て、戦争を繰り返さないという思いを広げ、友達や家族と戦争について語り合う機会としてください。視聴をご希望の方は、福島医療生協本部までご連絡ください。

理事会社保平和委員会

委員長 斉藤 章衛

ちよつと／

おすすめの



【ポロニーヤ紀行】



井上ひさし 著
文春文庫

しまいました。

井上ひさしさんはこの本の中で、「平和を「日常」と言い換

え、「日常の中に人生を見つける」ことを叶えてくれる街作りを語っています。「平和を守れ」と言う代わりに「この日常を守れ」。そのためには自分の街を住みやすくする。井上ひさしさんが街づくりに積極的なポロニーヤに恋して訪ねてこの本を書かなかつたら、私が本を手にとらなかつたら、本当のポロニーヤを知らずに一生過ごしたかも、と思うのです。本との出会いはホントに大切です。

理事 谷野 通子

イタリアのポロニーヤは、紅茶のティーバッグを開発した都市です。この本を読み進めるうちに私は、ティーバッグ等充填包装機械を生産する会社も、ホームレスを救済する組織も、社会的協同組合として創つてしまつポロニーヤ方式・精神に魅了されて



新しい 生協健診 メニュー

【甲状腺パック】と 【レディース腫瘍マーカー】

【甲状腺パック】は甲状腺がんの発見や甲状腺機能障害を見つけることができます。ほてり、むくみ、動悸、イライラ、不眠などの症状は、甲状腺の異常によるものが多く、検査によって詳しい診断が可能となります。検査項目は甲状腺ホルモンの値を調べます。価格は組合員4,400円、一般6,600円となります。

【レディース腫瘍マーカー】は女性に特有の乳がん、子宮がん、卵巣がんの早期発見に役立ちます。本検査単独でもよいのですが、子宮がん検診と合わせて行うことで更に効果的です。

4つの腫瘍マーカーを調べます。価格は組合員7,700円、一般9,900円となります。

どちらも血液検査になります。

申し込みはわたり病院健診センター(522-3446)へ。



組合員の みなさんからの 声

あずみの里の裁判の記事
を読んで

九月号の「いま介護の未来のために」という記事を読み、こんなことがあるのだと驚きました。幸い無罪にまで持ち込めたことは良かったと思いますが、介護にかかわる方はいつそのような場面に出くわすか、気が気ではないと思います。介護の仕事はますます大変になってくると思います。だからこそ待

遇が改善され、この職業を誇りに勤める人が多くなつて欲しいと思います。

鳥川平田支部 富田 清子

私も増資します

コロナ禍での不安から治療が必要なのに受診を控えたり、人とながりにくい状況が深刻になって、わたり病院も大変なのだろうと思います。地域の医療と介護を守る医療生協強化が五点にわたって示されていて、みなさんに広がることを願います。私も増資します。

蓬莱支部 渡部 保子

無料 法律相談会

●日時

毎月第2木曜日 13:30～15:30

※日にちは変更になる場合があります。

●場所／医療生協わたり病院内

事前申込制 Tel. 024-522-1236

●相談員／あぶくま法律事務所弁護士

組合員のみなさんからの記事を募集しております。

ご意見ご感想、身の回りのことなどをお寄せください。

素敵な作品なども

大歓迎です。

●お問合せ
福島医療生協組合員活動部
Tel.024-522-1236



ジンズワンス 真珠丸子 (肉団子)

3～4人分

●材料

- ・豚ひき肉 200g
- ・しいたけ 2枚
- ・しょうが 少々
- ・もち米 1/2カップ

- ・卵 1個
- ・長ねぎ 1/2本
- ・にんにく 少々

●調味料

- ・オイスターソース 大さじ1/2
- ・砂糖 少々
- ・ごま油 大さじ1/2
- ・しょうゆ 大さじ1/2

●白菜 1～2枚



作り方

下ごしらえ

- ①もち米は洗って3時間水に漬け、水分を切る。
- ②しょうが、にんにくはすりおろす。しいたけ、長ねぎはみじん切りにする。

具をつくる

- ③ボウルに豚ひき肉を入れて練り②と卵を加えて混ぜる。調味料を加えて混ぜる。
- ④③の具を12等分して丸め、表面に①のもち米をまぶしつける。

蒸す

- ⑤蒸し器に白菜を敷き、間隔をあけて④を並べる。
- ⑥火にかけ蒸気が出てきたら、弱火にして約15分蒸してできあがり。好みで、からししょうゆなどでいただく。

わたり病院 栄養科 主任 菅島 健夫



手前の瓦葺きが(旧)公民館、左奥の建物は集会所

県内最初の公民館

山舟生村除石部落

蓬莱支部 菅野 家弘

★ふるさとの歴史探してみませんか★ 58

戦前、一部の考えに盲従して戦争に巻き込まれた反省に立って、「町村民が相集って教えあい導きあい、互の教育文化を高めるための民主的な社会教育機関」(公民館の設置運営について「一九四六年、文部省」として公民館が位置付けられた。

「部落の民主化はわれわれから」と、四十六年の暮れいち早く立ち上がったのは、伊達市山舟生村の除石部落の青年たち。県道一〇

一号、丸森梁川線の山あいの中、丸森へ入る直前の集落である。青年たちの熱意が部落を動かし、金も集まった。青年団(男六十七人、女十九人)は、四十七年一月雪をかきわけて村有林を育てた公民館は、その後統廃合で減り続け、行政側の管理強化との争いもあった。さらに、伊達市では「交流館」、福島市では「学習センター」と名称も変わる。公民館の初心を忘れぬようにしたい。

しかし、青年団、婦人会、あるいは自主的なサークルを育てた公民館は、その後統廃合で減り続け、行政側の管理強化との争いもあった。さらに、伊達市では「交流館」、福島市では「学習センター」と名称も変わる。公民館の初心を忘れぬようにしたい。

(「青年ふくしま」(昭和二十二年五月号)にのった県社会教育課、今井豊蔵氏の文も参照しました)